



阿蘇大橋及び国道57号の崩落（熊本県防災消防航空隊提供）

第1章 熊本地震の概要

1 地震の概要（平成 28 年（2016 年）熊本地震）

（1） 前震

発生日時 平成 28 年 4 月 14 日 21 時 26 分頃
震央地区 熊本県熊本地方
(北緯 32 度 44.5 分、東経 130 度 48.5 分)
震源の深さ 11 k m
規 模 マグニチュード 6.5
管内の震度 震度 7 : 益城町
震度 6 弱 : 熊本市東区、熊本市西区、熊本市南区、西原村
震度 5 強 : 熊本市中央区、熊本市北区

（2） 本震

発生日時 平成 28 年 4 月 16 日 1 時 25 分頃
震央地区 熊本県熊本地方
(北緯 32 度 45.2 分、東経 130 度 45.7 分)
震源の深さ 12 k m
規 模 マグニチュード 7.3
管内の震度 震度 7 : 益城町、西原村
震度 6 強 : 熊本市中央区、熊本市東区、熊本市西区
震度 6 弱 : 熊本市南区、熊本市北区



地震後に現れた地割れ

2 地震活動

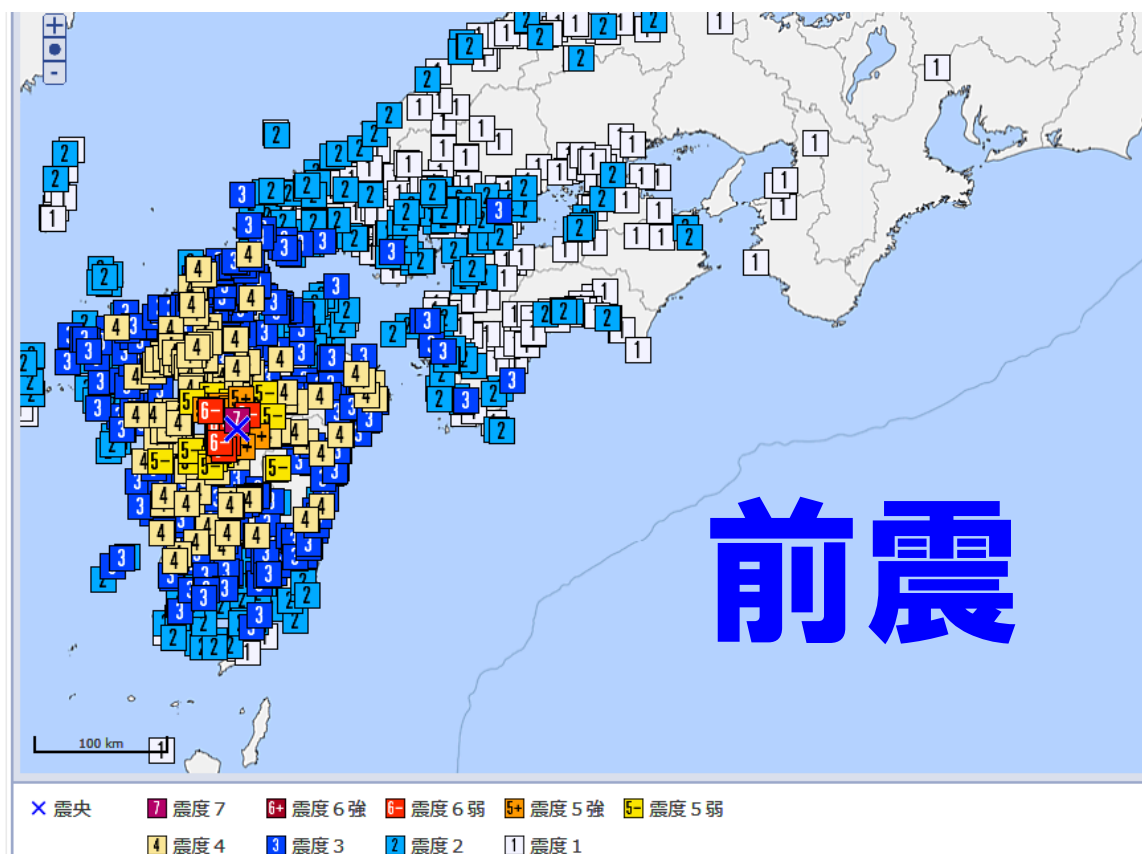
(1) 最大震度 5 弱以上の地震

発生日	発生時刻	震源地	地震の規模（マグニチュード）	最大震度
4 月 14 日	21 時 26 分	熊本県熊本地方	M6.5	震度 7
	22 時 07 分	熊本県熊本地方	M5.8	震度 6 弱
	22 時 38 分	熊本県熊本地方	M5.0	震度 5 弱
	23 時 43 分	熊本県熊本地方	M5.1	震度 5 弱
4 月 15 日	0 時 03 分	熊本県熊本地方	M6.4	震度 6 弱
	0 時 06 分	熊本県熊本地方	M5.0	震度 5 強
	1 時 53 分	熊本県熊本地方	M4.8	震度 5 弱
4 月 16 日	1 時 25 分	熊本県熊本地方	M7.3	震度 7
	1 時 44 分	熊本県熊本地方	M5.4	震度 5 弱
	1 時 45 分	熊本県熊本地方	M5.9	震度 6 弱
	3 時 03 分	熊本県阿蘇地方	M5.9	震度 5 強
	3 時 09 分	熊本県阿蘇地方	M4.2	震度 5 弱
	3 時 55 分	熊本県阿蘇地方	M5.8	震度 6 強
	7 時 23 分	熊本県熊本地方	M4.8	震度 5 弱
	9 時 48 分	熊本県熊本地方	M5.4	震度 6 弱
	9 時 50 分	熊本県熊本地方	M4.5	震度 5 弱
	16 時 02 分	熊本県熊本地方	M5.4	震度 5 弱
4 月 18 日	20 時 41 分	熊本県阿蘇地方	M5.8	震度 5 強
4 月 19 日	17 時 52 分	熊本県熊本地方	M5.5	震度 5 強
	20 時 47 分	熊本県熊本地方	M5.0	震度 5 弱
6 月 12 日	22 時 08 分	熊本県熊本地方	M4.3	震度 5 弱
8 月 31 日	19 時 46 分	熊本県熊本地方	M5.2	震度 5 弱

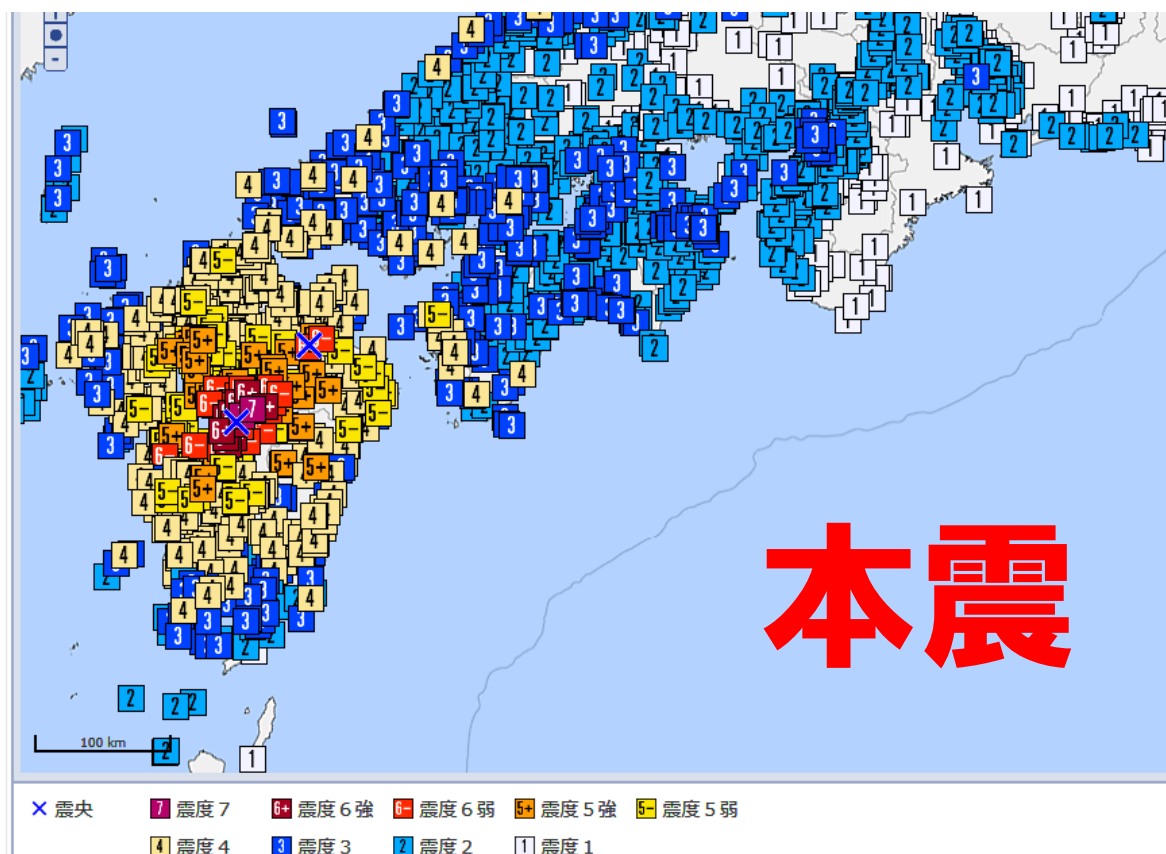
3 地震の特徴

- ・震度 7 の地震が立て続けに 2 回発生（観測史上初）
- ・震度 7 を記録した地震は 2 回とも夜間発生
- ・一連の地震で震度 6 弱以上の地震が 7 回発生（観測史上初）
- ・余震の発生回数（累計）は 4,364 回（平成 29 年 7 月 31 日現在 気象庁HP より）
- ・前震、本震いずれも「横ずれ断層型」
- ・陸域の浅い地震であった（活断層の地震に備える 文部科学省 気象庁より）

4 各地の震度

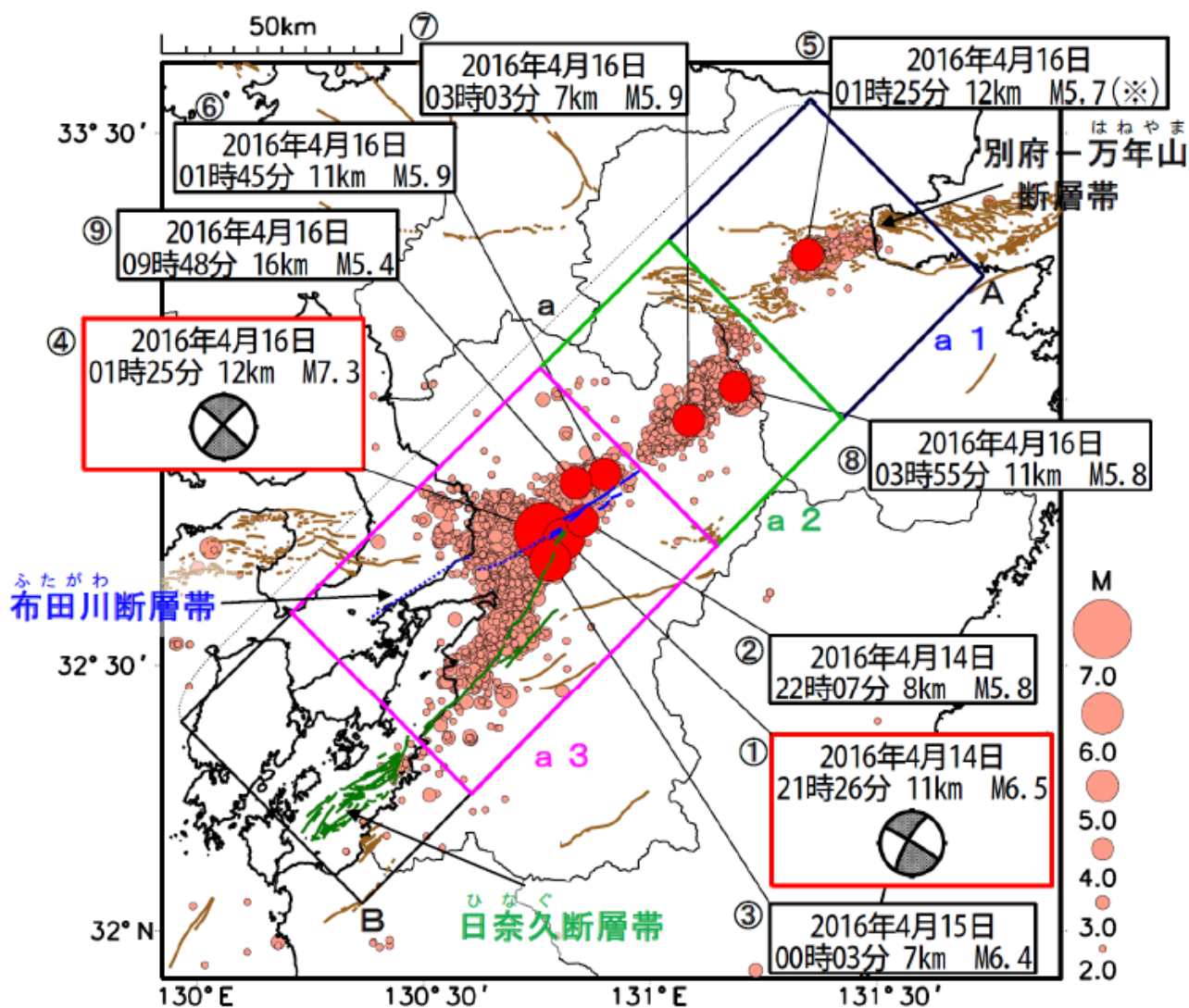


平成 28 年 4 月 14 日 (気象庁HPより)



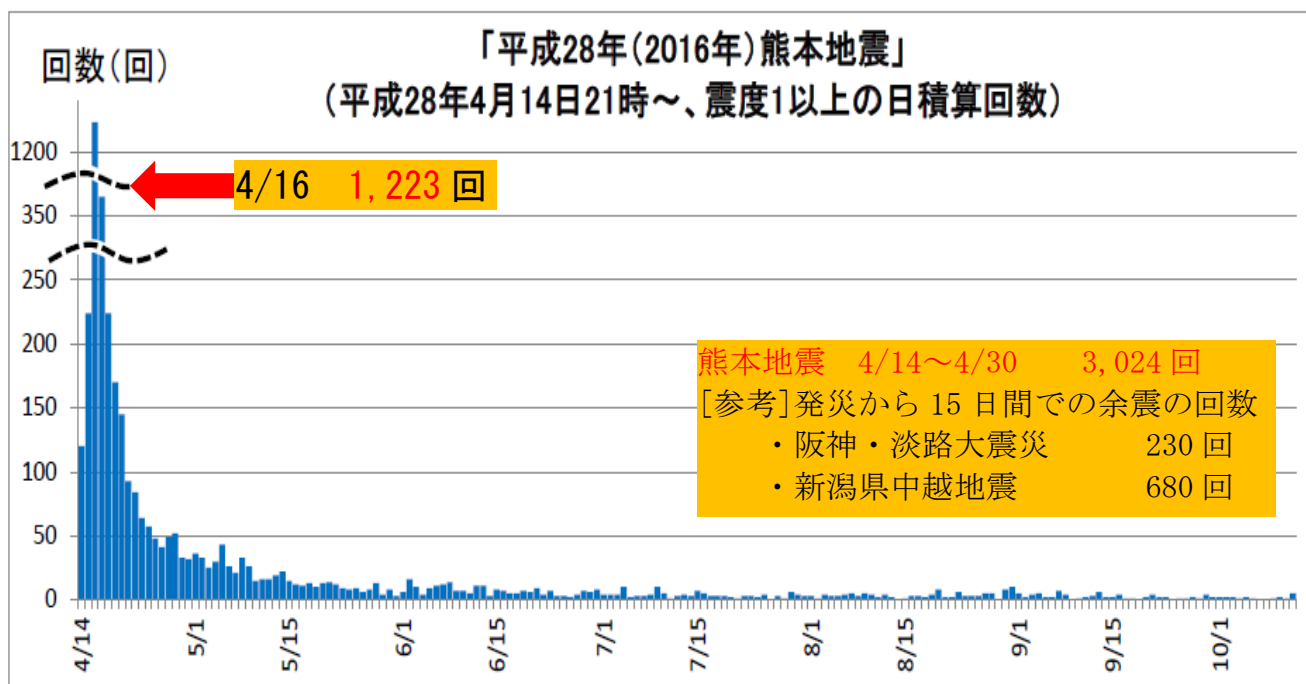
平成 28 年 4 月 16 日 (気象庁HPより)

5 震央分布図（震央を赤く表示）



※M7.3の地震の発生直後に発生したものであり、Mの値は参考値（気象庁HPより）。

6 余震活動



7 被害状況

(1) 人的被害（平成 29 年 11 月 30 日現在）

死 者 : 79 人（直接死 6 人、関連死 73 人）

重 傷 者 : 757 人

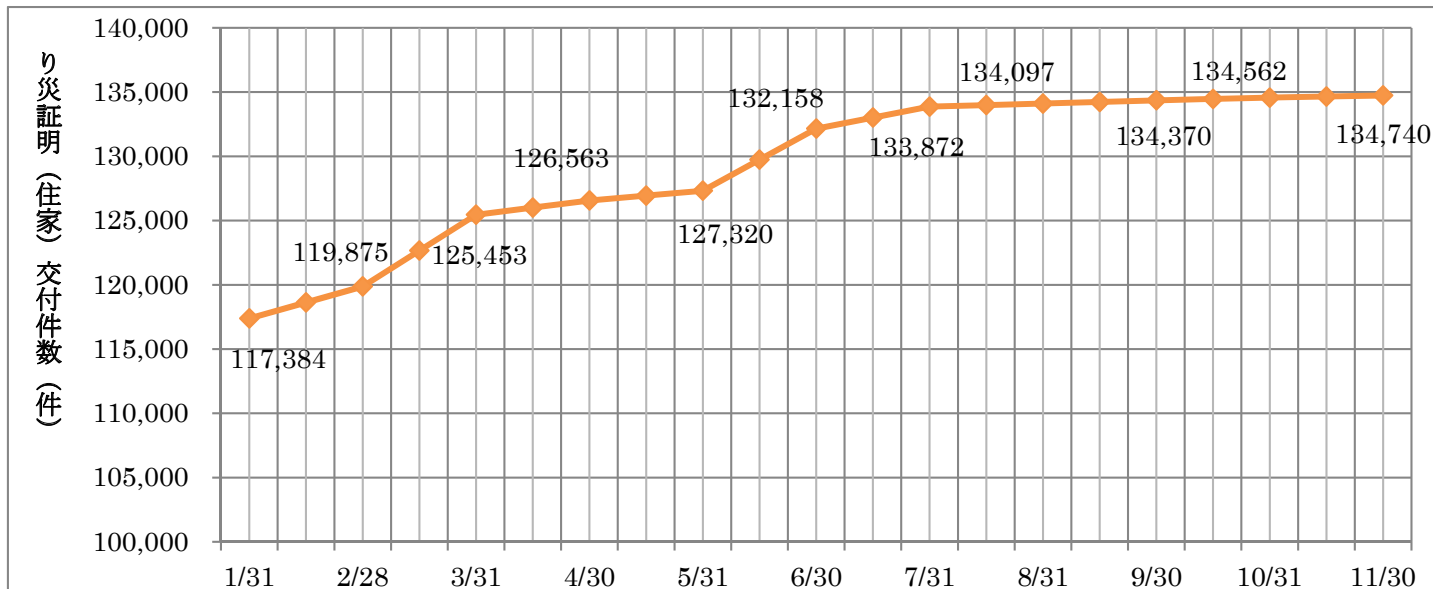
(2) 住家被害（り災証明書交付件数）（平成 29 年 11 月 30 日現在）

全 壊 : 5,761 件

大規模半壊 : 8,950 件

半 壊 : 38,780 件

一部損壊 : 81,239 件



○がけ崩れ被害戸数（造成宅地変状箇所内の箇所を含む）

・世帯数を基に、被災宅地危険度判定結果などから被害戸数を算出（推計値）



約 4,300 戸

○液状化被害戸数

・市民からの被害情報などから 4 地区（南区近見、南区土河原、西区中原町、東区秋津町秋田）について基礎調査を実施し、被害戸数を把握。・4 地区以外の被害戸数について、道路や下水道の公共施設等の情報を基に目視による現地確認を行った結果、液状化による被害と想定されたおよその範囲において被害戸数を算出。



約 1,600 戸



約 1,300 戸

計約 2,900 戸



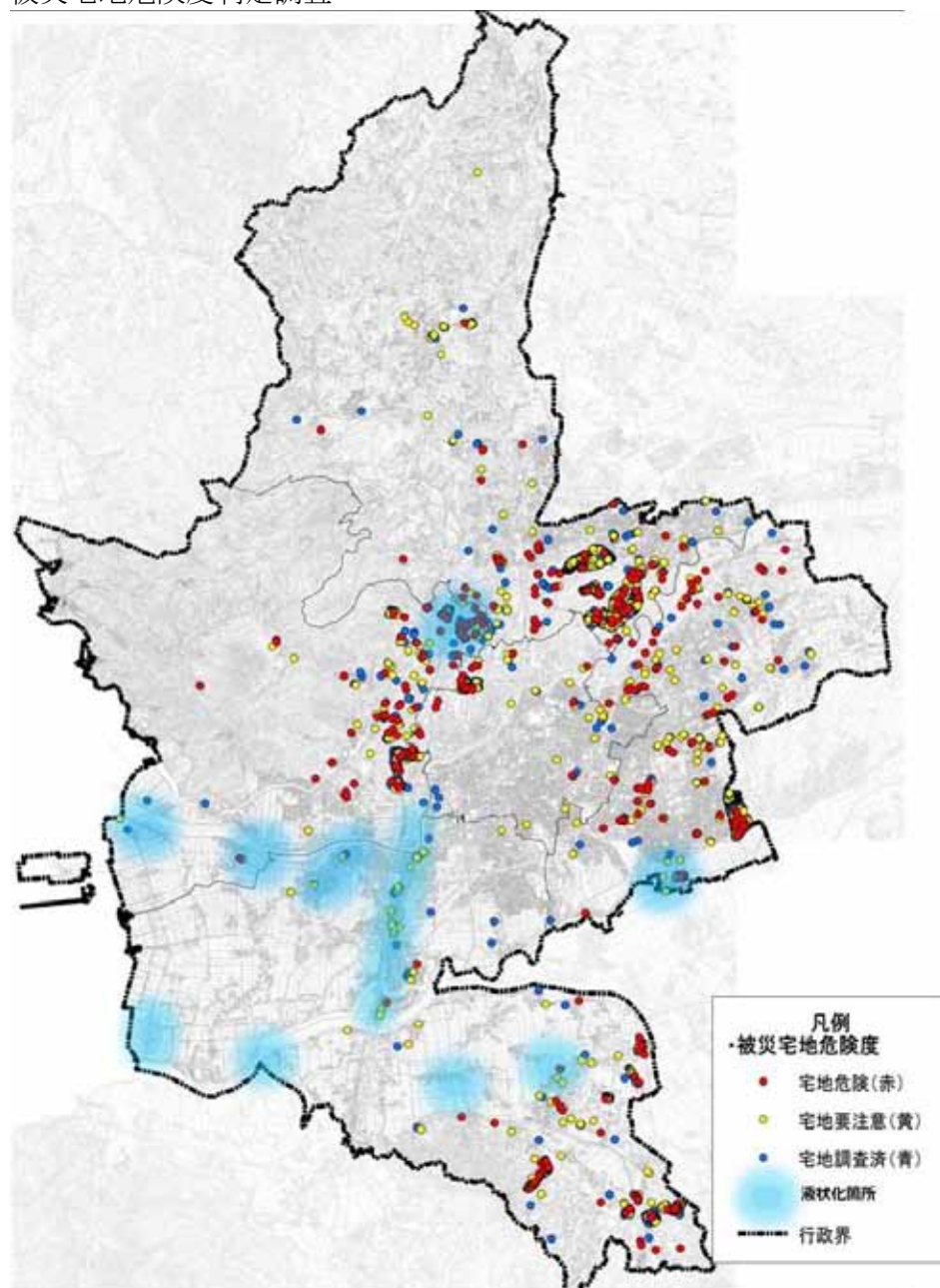
【液状化箇所】

沈み込んだ電柱（南区近見）



【液状化箇所】

被害を受けた住宅（南区近見）



(3) ライフライン

ア 水道

- ・水源地等停止 96 箇所
- ・最大約 326,000 世帯が断水（4月16日時点）
⇒4月30日通水完了

イ 電気

- ・74,900 戸停電（4月16日4時時点）
⇒4月18日午後復旧

ウ ガス

- ・100,900 戸供給停止（4月16日1時25分時点）
⇒4月30日供給開始



空気弁からの激しい漏水



多量の漏水による道路の浸水



消火栓からも漏水がみられ活動に支障をきたした